

## ■温室効果ガス削減の目標

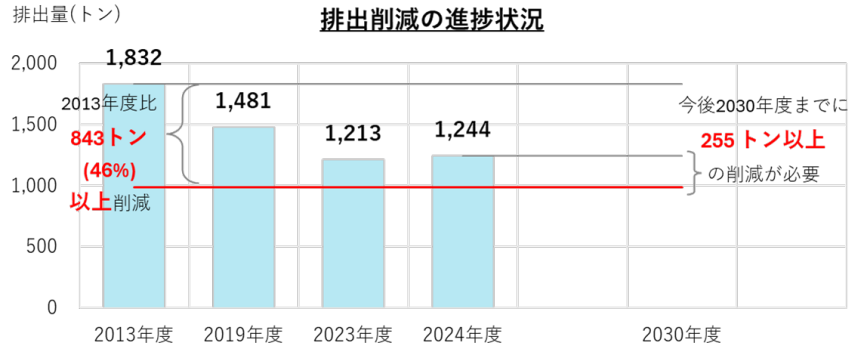
	削減目標 (政府目標値)
2030年度	2013年度比 46% (843トン) 以上
2050年度	カーボンニュートラル

## ■温室効果ガス排出量の推移

徳島空港の2024年度の温室効果ガス排出量は、2023年度比32トン増加の1,244トンである。  
2030年度の削減目標 (2013年度比46%以上の削減) の達成には、今後255トンの削減が必要である。

	温室効果ガス排出量(トン)			
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度
空港施設	1,708	1,341	1,083	1,121
空港車両	125	139	130	124
計	1,832	1,481	1,213	1,244

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



主に契約されている電力会社の排出係数… 2019年度：0.528、2023年度：0.454、2024年度：0.464  
空港全体の商用電力使用量(kWh) …2019年度：254.1万、2023年度：238.4万、2024年度：241.5万

## ■2020年度～2024年度の温室効果ガス排出量の増減背景

徳島空港では、2020～2024年度にかけて、施設整備は行われなかった。商用電力使用量の増加、主に契約されている電力会社の排出係数の上昇 (2023年度比) を主な背景として、2023年度に減少した温室効果ガス排出量が2024年度には増加に転じている。この間、空港の利用 (航空機運航回数や旅客数) はコロナ前水準以下に留まっている。

## ■2020年度～2024年度の脱炭素化施策の取組状況

空港施設に係る取組	➤ 建築施設照明のLED化、空調の高効率熱源の導入や省エネルギー運用等の取組が行われた。
空港車両に係る取組	➤ 電動車の導入、バイオ燃料の活用、EV用充電設備設置が行われた。
再エネ導入促進に係る取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)
その他の取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)